



年度当初にあたって

4月6日に無事に始業式と入学式を終えて令和5年度のスタートとなりました。年度当初にあたっていくつかのことを載せて参ります。

1 学期始業式 学校長の話 (要約)

学校教育目標に「正しい知恵を学び 心豊かに たくましく生き抜く」とあるとおり、今年度は特に「知恵とたくましさ」をみんなには身につけてほしいと願っています。

生活をしていけば、うまくいかないことや失敗してしまうこともあります。当たり前ですが大勢の人と生活しているのですから、自分の思い通りにいかないこともあるし、当然、人は一人一人違うのであなたと同じ考え・生き方とは限りません。

大人の社会はもっともっと困難で複雑ですが、大人はそのことだけで苦しんではいません。それは、困難さや複雑さとつきあうための力を身につけながら生活しているからです。

困難さや複雑さとつきあえる力、それが知恵とたくましさだと思っています。

3つ話をします。

1つめ。学習を頑張ってください。授業や家庭学習は「わからないことをわかるように、できないことをできるようにしていく」ための「方法や筋道」を自分で獲得するためにあります。答えのある問いを教われればよいのではなく自分で解いていくことに意味があります。そして、「こうやれば他のこともできそうだ」と知恵をつけるためにあります。

家庭学習ももう少し頑張れるようになりましょう。今年は自分に必要な家庭学習の内容を自分で計画する「プランニングタイム」を帰りの学活に入れます。

2つめ。オクレンジャーで通知があったように、必要な人を除いて学校生活ではマスクは求めません。コロナは5月には大きな緩和の方向が示されています。今年は大いに町や地域に出て「動く」ことを頑張ってください。5月末には多くの地区で「530(ゴミ0)運動」が行われます。まずは自分の地区では何ができるか何をしたら方がよいのか考えて動いてみてください。正解はありません。正解のない活動をしてみてください。

3つめ。3月に卒業生は「知りたかったのは、心の傷の治し方、傷ついた友の励まし方(一部略)」(RADWIMPS 野田洋次郎さん作詞の『正解』からの引用)と歌いました。大人だってそれを知りたくて考えたり取り組んだりしています。昨年度も話しましたが、SOSを出すこと、SOSを出してもらえる自分になること、みんなで友だちのSOSを解決に向かって頑張ってみること。それを最後をお願いします。よりよい辰野中学校をみんなで創りましょう。

入学式 学校長式辞 (新生へのメッセージ部分のみ要約)

皆さんに2月の体験入学でお話した大ケヤキの他に辰野中が古くから大事にしているものがあります。それは最初に触れた、城前線の桜並木です。城前線の桜並木は、今から60年以上前の昭和35(1960)年に、当時辰野町に在住していた朝鮮民主主義人民共和国の方々が母国に帰国される際に記念に植樹された桜で、その後、地域の皆さんが新しく植樹したりしつつ大事に守り育ててきている桜並木です。辰中の先輩たちも毎年、春は桜の花びらを集めたり秋は落ち葉を拾ったりしています。このような活動の始まりは、ある3年生の行動でした。植樹された2年後の昭和37(1962)年のこと。当時の桜は瀕死の状態、その姿と植樹されて帰国された方々の思いとを重ね合わせて、2人の女子生徒が「自分にできることをしよう」と草取りを始めたのだそうです。この2人の思いは後輩に受け継がれ、「帰国された方々の願いを無にせず、自分たちの手で桜を守り育てよう」と話し合われ、昭和39(1964)年に緑化委員会が発足したり、昭和63(1988)年に案内板が掲出されたりして現在の伝統活動となっています。今年はコロナの心配も少しずつ減ってきたので、「城前のサクラ見守り隊」の方々と「サクラのカルテづくり」をコロナ前に戻って行う予定でいます。新生の皆さん、先輩たちと共に伝統を大事にいきましょう。また、新たな伝統をつくるのは、あなた方の小さな一歩です。「自分にできることをしよう」とした先輩を見習ってください。

「自分にできることをしていく」ことにつながるもう一つのお話です。3月の野球のWBCでは日本が優勝しました。テレビで応援していた人も多かったと思います。優勝の立役者となった村上宗隆選手が出ているCMを見ました。村上選手は、昨年度、プロになってわずか5年で、打率・打点・ホームランの3つのタイトルを史上最年少で獲得した素晴らしい選手です。しかし、順調にプロ野球選手になれたのではなく、CMの中では、プロ野球選手になると言ったときに、「現実を見た方がいいよ」とか「なれるわけがない」と言われたと語っていました。でも「絶対にプロ野球選手になる」と思い続けたそうです。「自分ならできると信じて前に進むだけ」とも言っています。新生の皆さん、今はキャリアというものがこれまでよりも大事にされる時代です。キャリアとは簡単に言うと「私はこういうことができます」と言える、見せられることです。小学校でも多くのことを身につけたと思います。また、家庭にあってもご家族の方から多くのことを教わり身につけてきたものがあると思います。中学校でも、引き続き、様々なことにチャレンジしてください。全てのことはきっと将来の自分のためになると信じるポジティブな心があるとよいです。中学校での活躍を期待しています。



初めての学活



新生代表挨拶



4月の城前線清掃

生徒への性暴力・わいせつ行為・ハラスメント防止のために校内ルールを設定してあります。保護者の皆様にもお知らせします。そのようなことのないようにするために、保護者の皆様との連絡の取り方で気をつけることも設定してあります。ご理解そしてご協力をお願いします。

児童生徒性暴力・わいせつな行為・ハラスメント防止のための校内ルール

○密室で生徒と二人きりになる状況をつくらない

- ・他者の目に触れにくい場所で生徒指導や進路指導等の個別指導を行う場合は、生徒と1対1で行わないことや、生徒が異性の場合は、生徒と同性の同僚を同席させることを心がける。密室とならないように、部屋の中が廊下から確認できない場合はドアを開ける等の工夫を考える。
- ・生徒を自宅に入れることや、自家用車に同乗させることで1対1にならない。
- ・管理職の許可なく、生徒の自宅を訪問しない。

○SNS等での生徒等の個人情報の流出につながる行為を避ける

- ・生徒の電話番号等の管理に気をつける。
- ・スマホや携帯での生徒の撮影は周囲からの誤解を招く恐れや、誤送信、流出等の恐れがあるため、公用カメラでの撮影を心がけ、早めにデータを管理の行き届いたところへ保管する。
- ・生徒や保護者とSNS等で私的なやりとりを行わない。
- ・生徒や保護者との連絡は、原則として学校の電話を使用し、安易に個人の携帯電話等を使用しない。(メールやショートメッセージ等を含む)

○生徒と必要以上に身体接触を行わない

- ・危険回避等、やむをえない緊急の場合を除き、不適切な身体接触は行わない。
- ・宿泊学習等で生徒の入浴や就寝指導を行う場合は、同性の職員があたる。

○生徒に対して特別な呼称で呼ばない

なお、保健室がセクハラ・パワハラ等相談窓口になっています。気になることはご相談ください。また、日頃から信頼できる大人にSOSを含めて相談することを学校でも伝えて参りますが、ご家庭でもよろしく願いいたします。



PTA「制服リユース制度」実施中



- ご希望の方、ご覧になりたい方はいつでも学校へどうぞ！
- 事務室でお名前やご用件をお話してください。担当におつなぎします。

【提供いただきたいもの・いただいているもの】

制服、スラックス、ベスト、スカート、リボン、給食用エプロン
学校指定運動着(長ジャージ上・下、半袖シャツ、ハーフパンツ)
ご提供いただく場合にはお洗濯済みの物でお願いします。

12 つくる責任
つかう責任



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS